

三陸沿岸道路利活用戦略会議 について

- 資料1 三陸沿岸道路利活用戦略会議について**
- 資料2 三陸沿岸道路の整備効果について**
- 資料3 地域活性化に関する施策事例、話題提供
他都市における連携事例の情報提供**
- 資料4 本日、ご意見頂きたい内容**

< 事業中 (H23~) >

『宮城県復興道路会議』

- 目的 ・ 一日も早い完成に向け円滑に事業を進める
- 内容 ・ 関係者に対する事業進捗への合意形成
・ 関係者の連携による課題解決

「道路の整備」から「利活用のフェーズ」に移行

< 開通後 (R3~) >

『三陸沿岸道路利活用戦略会議(宮城県)』

- 目的 ・ 三陸沿岸道路の全線開通を三陸沿岸エリア全体としての更なる地域活性化につなげる
(関係者が連携できる場(プラットフォーム)の構築)
- 内容 ・ 三陸沿岸道路沿線における動向等に関する情報共有
・ 三陸沿岸道路を活用した地域活性化策の検討・実施

三陸沿岸道路利活用戦略会議

①三陸沿岸道路沿線における動向等に関する情報共有

- 自治体やゲストからの話題提供
(企業立地や産業活動、観光、施策実施状況 等)

②三陸沿岸道路を活用した地域活性化策の検討・実施

- 個別プロジェクトの企画、実施
(国交省で支援可能な施策メニュー紹介、自治体からの提案 等)

個別プロジェクトWG

希望自治体の担当者による
WGを立ち上げ機動的に推進

取り組み結果の
報告・共有

R3年度

6月

第1回 三陸沿岸道路利活用戦略会議(宮城県)

- 会議立ち上げ
- 地域活性化の施策メニューの紹介・提案

R4年度

11月

第2回 三陸沿岸道路利活用戦略会議(宮城県)

- 三陸沿岸道路を活用した地域活性化に関する施策事例、話題提供
- 他地域における連携事例の話題提供

・WG立ち上げに向けた意向調査

R5年度

- 自治体やゲストからの話題提供
- 観光分野をはじめとした連携施策の検討、施策の効果把握、相互の情報発信を行う
- WGの取り組み結果を報告、次回の方針議論
- 年1～2回程度のペースで会議を開催

■道路開通による効果

- 朝ドラ「おかえりモネ」のロケ地巡りの観光客が増加（宮城県、気仙沼市、登米市、栗原市）
- 工業団地の造成と新規企業の立地（宮城県、気仙沼市、東松島市）
- 三陸沿岸道路により運送業では広い運搬エリアをカバー可能（東松島市）

■現在の取組み

- 復興商店街や震災伝承施設等の復興ツーリズムの取組み（宮城県）
- 宮城県サイクルツーリズム（令和3年度：地域部会立ち上げ、具体的ルートの設定）（宮城県）
- レンタカープランと観光情報を来訪者に提供することで周遊を促す企画を展開（仙台市）
- 仙台空港～三陸沿岸道路のレンタカーを特別料金で借上げ（気仙沼市）

■今後の取組みの方向性

- 隣県や沿線市町との連携により教育旅行や修学旅行の誘致（宮城県、南三陸町）
- 朝ドラのロケ地巡りと合わせたB級グルメ巡り（B級グルメロード）（登米市）
- 三陸沿岸道路を活用した高速バスの公共交通軸サービスの提供・停留所の検討（気仙沼市、南三陸町）
- 三陸沿岸道路を活用したマラソンやサイクリングイベントの実施（気仙沼市）
- 林業・農業体験、石ノ森章太郎ふるさと記念館等の訪問を組み合わせたワーケーション（登米市）
- 春日PAを利用した沿岸自治体の色々な海産物などを販売（利府町）